

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案（精案）

1 単元名 おゆみ野 公園マイスター

2 単元の目標

地域には、公園などみんなの憩いや遊びのための場所や施設があり、それらとよい関わり方があることが分かる。また、それらを快適に利用できるように、いろいろな人の働きかけがあることを理解し、自らもそれらやそれらを取り巻く環境を大切にしようとする。

3 単元について

(1) 単元における探究課題・育成を目指す資質・能力

＜探究課題＞ 地域にある施設やそれらに関わる人の思い（地域）		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域には、公園などみんなの憩いや遊びのための場所や施設があり、それらとよい関わり方があることが分かる。 ・それぞれに、みんなが快適に利用できるように働きかけする人がいることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・到達点や通過点に向かった課題を把握し、解決や手順を考えられる。 ・多様な方法で情報を集め、観点を明らかにして整理したり、分類したりできる。 ・発信したい相手を意識した文字表現や言語表現を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの施設に関心を高くもち、進んでそれらと関わろうとする。 ・自他の考えや意見を調整しながら活動し、みんなで課題を達成しようとする。 ・難しい課題や苦手なことにも意欲的に取り組み、粘り強く活動できる。

児童の実態

- ・明るく活発で、人当たりはよい。学級でまとまるより、各々興味で固まって遊ぶことが多い。
- ・学習では少人数でも一斉でも意欲的に発言でき、お互いの意見を認め合うことができる。
- ・新しいことへの興味・関心は高く集中して取り組むことができるが、学習が進むにつれ、慣れや飽きが顕著に見られるようになる児童が多い。
- ・家の方面であっても、車移動が多く、知らない場所も多くある。家の方面でなければ、ほとんどその地域については知らない。



<h4>地域の材について</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・町ができて、まだ10数年の歴史であり、計画的に住宅や公園が立地されている。少し足を延ばすと古くからある古民家もある。 ・学区の公園は、大きさや遊具の種類、形状も様々である。管理は、ほぼ役所が管轄であり、植栽については、ボランティアで行っている方がいる。（過去には、本校との関わり有） 	<h4>教師の願い</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・公園などの施設との関わりを通して、おゆみ野の町の特徴やそこに住む人とのつながりを理解し、地域に愛着をもってもらいたい。 ・探究的な学習の流れを把握しつつ、他教科の学習を生かして活動に取り組んでももらいたい。 ・自他を認め合い、助け合いながら、粘り強くやり遂げる姿を育てたい。
---	---

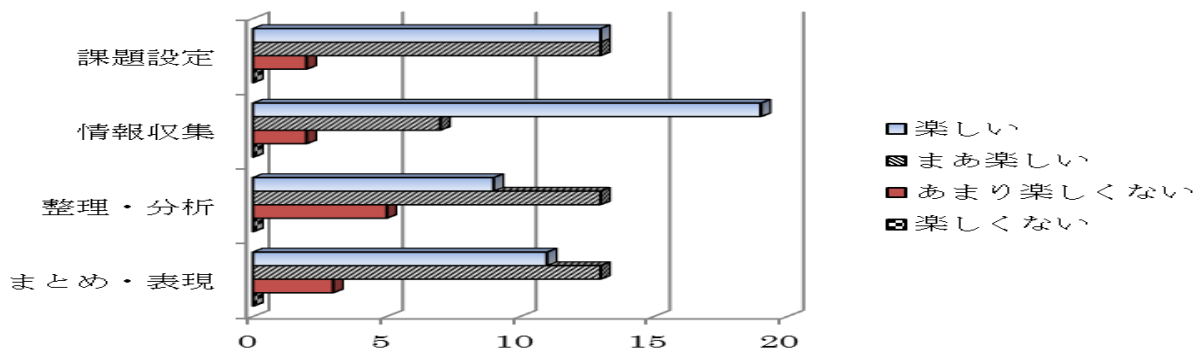
(2) 児童の実態

Q. おゆみ学習の時間は、楽しいですか？

楽しい	まあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
15名 (54%)	13名 (46%)	0名 (0%)	0名 (0%)

Q. これまでのおゆみ学習の活動は、どうでしたか？

課題設定 : おゆみ学習で何を学習していくかや、公園で何を調べたらよいかをみつける活動
 情報収集 : 公園に出かけて、計画にそって公園のことを調べる活動
 整理・分析 : それぞれの公園がどんなとくちょうか考えたり、にている所をさがしたりする活動
 まとめ・表現 : それぞれの公園についてのとくちょうやその公園にあるものを紙にまとめる活動



Q. 一番、楽しかった活動は？

公園の大きさや数を調査する活動 (15名) 公園に来ていた人にインタビューする (1名)
 いろいろな場面での話し合い活動 (8名) 公園の遊具で遊んでみる活動 (1名)
 それぞれの公園の特徴を考える活動 (3名)

Q. あなたは、南小のまわりの公園を調べてみて、どう思いましたか？

- 南公園・・・大きな森やすべり台がお気に入り、筋トレマシーンを使ってみたいと思った。来ている人が多くいたのでインタビューをしてみたい
- かりたご・・・大きな池や変わった形のシーソーがあり、行ったこともなかったのでまた行ってみたい
- かすがさく・・・クモの巣ネットを使ってみんなで遊んでみたい
- そばら・・・高いところに遊具あっておもしろそうだった
- ほかの公園も (山ぼうし公園) などを調査してみたい
- それぞれの公園にちがいがあ、おもしろいと思った

第1サイクル後に調査を行った。初めての総合的な学習の時間への取り組みについては、全員が楽しい・まあ楽しいと回答しており、よいスタートを切れたと考える。探究的な活動への取り組みの結果を見ても、情報収集を筆頭にどれも楽しみながら学習に臨めたことがわかる。特に、公園に実際に調査することが主になった情報収集に対しての評価は非常に高かった。

話し合いの活動が一番楽しいと回答している児童もいる。総合的な学習の時間の肝の一つでもある対話的な活動についても楽しいと感じる児童が増えるよう、場を設定・工夫し、公園マイスターになるために自分たちが「すべきこと」や「やりたいこと」を一人一人の意見を大切にしながら話し合っていきたい。

4 研究主題に向けての視点

視点1 なりたい自分・目指す姿を意識した単元構成の工夫

○小単元ごとの活動計画の明確化と提示

3年生にとって、総合的な学習の時間は初めてとなるため、探究のプロセス（課題の設定からまとめ・表現）についてを丁寧に確認しながら学習を進めていきたい。小単元ごとに課題を設定した後、目指す姿を意識しながら、どんな情報をどのように集め、その情報から何を整理・分析し、どんな形でまとめたり誰に表現したりしていくのかを明確にしていく。

また、探究のプロセスやプロセスごとの活動計画を示した掲示物を直ちに作成し、これからの活動内容の意義や今後の見通しなどを随時確認していけるようにする。

活動計画の明確化と提示を通して、探究のプロセスに慣れ、次の小単元や次年度の学習にもつながり、より学習が深められると考える。そして、その深い学びから自分たちが地域とともにどのように生きていくべきかを見つけられるようにしていきたい。

○学校の周りのそれぞれの公園（そのもの・携わる人）との密な関わり合い

学校の周りには、徒歩15分圏内に公園が5つあり、児童は生活科の学習で最寄りのおゆみ野南公園を探検したり、放課後や休日に近所の公園で家族や友達と遊んだりしている。児童にとっても「大好きな場所であり、大切な場所である」と捉えている。一方で、自宅とは違う方向の公園には行ったことのない児童も多くいて、公園の名前を出してもピンとこない様子も窺える。そこで、まずはそれぞれの公園に出向き、遊具の種類や公園の大きさなどを調査しながら特徴を分析し、まとめて地域にある公園についての認識を深めたい。

また、児童から「日中の時間にはどのような人が公園を利用しているのか」「どの公園のどんな遊びが人気なのか」「花壇などの植物や遊具などの管理はだれが行っているのか」など、公園と人との関わりにも目が向いてくるはずである。他学年児童や近所の方にインタビューやアンケートをしたり、近隣の保育園や幼稚園にも手紙を出したりするなどして、直接関わる人の生の声を拾い上げていけるようにしたい。また、市の公園管理課の方を招聘し、公園利用や管理の実態を聞く活動も加えることで、児童自らが次なる課題を見つけ、その課題解決に向かって探究する姿が見られるのではないかと考える。

○社会科を中心として他教科と関連した横断的指導

この単元は、社会科の「学校のまわりの様子」の学習のまとめから発展的にこの単元の導入に流がしていく。社会科だけでは収まり切れない感じから総合的な学習の時間へと教科を移し、総合的な学習の時間の存在意義の理解や関心の高まりにつなげていきたい。

そして、国語科の特徴を比べて書く単元や手紙を書いたりインタビューしたりと相手と関わる単元、算数科の長い長さのものを測る単元などを計画的に組み替え、横断的に指導し、知識や技能の向上を図っていく。また、道徳についても活動内容に合わせた教材を選択し、「公共の精神」や「規則の尊重」など、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきたい。

視点2 主体的・対話的で深い学びを生む学習指導の工夫

○「学級」⇔「1つの公園」での活動

5つの公園についての特徴や利用・管理状況を確認した後は、学級で1つの公園に絞って、テーマである「公園マイスター」を目指していく。主体的・対話的で深い学びを生み出すためにも、マイスターを目指す上でも、幾度となくその公園に出向き、遊びや働きかけについての探究をする必要があり、一人一人がその公園に愛着をもつことが最重要である。また、活動や移動中の安全の確保も不可欠であるため、「学級」⇔「1つの公園」での活動を設定していきたい。

○児童の課題意識・意欲を高める発問・板書の工夫と思考ツールの積極的な活用

学習を展開する中で、発問（特に主発問）の文言やタイミングをよく考え、計画的に行っていく。活動の状況によって発問も違ってくるので、いくつかの場面を想定しながら深い学びにつながるように発問も状況に応じたものを準備しておく。また、できるだけ短い言葉にまとめ、児童の思考の流れを妨害しないようにしていきたい。

板書についても、活動内容や児童の思考の流れなどが明確になるよう、学習場面を想定しながら計画的に行っていく。深めていきたい活動内容に応じて、言葉を線でつなげたり色分けしたり、思考ツールを活用しながら比較、分類、関連付けなどを行い、探究活動の深まりや活動の振り返りにつなげていきたい。

思考ツールについては、板書だけでなく児童の活動（個やグループ）にも積極的に活用していきたい。3年生という学年を考えると、まだまだ自分たちで思考ツールを選択して活用することは難しいと思われるので、教師側から提示や説明をし、使用するようにしていく。他教科においても積極的に活用し、上学年になった時には自分たちで活動の内容や場面に合ったツールを選択し、効果的に活用できるようになってもらいたい。

○学年間、全校・地域（商店や近隣幼稚園・保育園・小学校）を意識した表現活動

表現活動において、「だれに」「どのような方法で伝える」ということを児童が意識をしながら計画や準備をしたり、作成や発表をしたりしていけるようにする。それぞれの公園の特徴をまとめる際には、形式を揃えて比較しやすくする。また、遊びのプレゼンテーションを行う際には、話し方や提示の仕方を工夫する。単元の終わりには、近隣の商店や幼稚園・保育園・小学校に置いてもらえるようなガイドブックを作成したいと考えている。旅行誌「るるぶ」を発行する出版社から編集者を招聘し、表現の技術や作り手の思いなどを聞いていく。

このような目的意識・相手意識を明確にした表現活動を行い、表現する楽しさも感じられるようにしていきたい。

視点3 変容が実感・認識できる評価の設定

○目指す姿に向けてのめあての設定と教師による丁寧な見取り・助言

児童は、各小単元の課題や目指す姿、活動計画を確認【視点1】した後、どんな活動を意識的に頑張りたいかを振り返りカードに記述していく。その際、下記の自己評価や掲示物を活用しながら具体的に記入するように助言していく。教師は、その記述を名簿や座席表に要約しながら転記し、記載内容をもとに活動の様子や発言、振り返りなどから丁寧に見取り、声かけやコメント、適切な助言につなげていく。児童自身が実感・認識する成長の変容と教師からの評価が的確に合わさることで、より変容の実感・認識が高まり、自信や次の活動への意欲につながると考える。

○各小単元後にこの単元で身に付けてもらいたいことを示した評価規準に即した自己評価の実施

上記の目指す姿に向けてのめあてと教師からの声かけやコメントを参考にしながら自己評価を行う。小単元ごとに自己評価を行うことで、単元終了後に児童自身がどのような成長の変容があったのかが辿りやすくなり、より確かな実感・認識につながると考える。

○活動の足跡をたどれる掲示物の作成

【視点1】で示した探究のプロセスを意識した活動計画に、活動の足跡として活動写真や発言、板書等を掲示物に記載し、直ちに教室に再掲示をする。いつでも足跡をたどれるため、過去の自分自身のと今を比べることができる。日々の生活の中でも、成長の変容に気付くことができ、今後の活動意欲にもつながっていくと考える。

5 単元構想（65時間）

次	主な活動内容	外部連携	活動形態	他教科横断・合科
①南小のまわりにある公園について調査しよう	○課題設定1 ・好きな場所、大切な場所を考えながら取り組む対象を決める ・目指す姿を考え、テーマを決める		全体	社会「学校のまわりの…」 理科「しぜんのかんさ…」 道徳「ふるさといいと…」
	○情報収集1 ・どんなことを調べるかを考える ・近隣の公園に出向き、遊具の種類や大きさなどを調査する	保護者ボランティア	全体（近隣学級と合同もあり）	道徳「ホテルの引っこ…」 算数「時間と長さ」
	○整理・分析1 ・それぞれの公園の共通点や相違点を整理しながら、その公園の特徴を分析する		全体	国語「生き物のとく…」
	○まとめ・表現1 ・それぞれの公園の特徴を意識して、模造紙に調査結果等をまとめる		グループ	
②公園がどのように利用・管理されているか調べよう	○課題設定2 ・どんな人がどのように利用し、遊具などはだれが管理しているかなど、次の課題や活動計画を確認する		全体	社会「いろいろなしごと」
	○情報収集2 ・南小の児童の利用調査 ・近隣の幼・保の利用調査 ・近隣住民の利用調査 ・公園管理の様子を調査	近隣の幼・保 近隣住民 公園管理課	全体	国語「いろいろな手紙…」 算数「表とグラフ」 道徳「ごみステーション」 道徳「大通りのサクラ…」 外国語「What do you…」
	○整理・分析2 ・それぞれの公園の利用状況を整理する		グループ （第1サイクルと同じ）	
	○まとめ・表現2 ・第1サイクルで作成したそれぞれの公園の模造紙に、利用状況や管理について追記する		グループ （第1サイクルと同じ）	道徳「きまりじゃないか」

③公園マイスターとして、新たな遊びを提案しよう	○課題設定3		全体	道徳「まけるものか」
	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の思いや利用状況、公園の特徴などを考慮しながら、マイスターを目指す公園を1つに絞る 目指す姿を意識しながら、活動の方向性や計画を確認する 			
	○情報収集3	千葉 YMCA	全体 ↓ グループ	理科「ゴムや風でもの…」 理科「植物を育てよう…」 理科「動物のすみかを…」 図工「サクサク小刀名人」
	<ul style="list-style-type: none"> 南小児童が知っている公園での遊び方で遊んでみたり、自然を活用した遊びのレクチャーを受けたりする 遊びなどに必要なものや情報を集めたり、作成したりする 			
④みんなが来たくなるようなガイドブックを作ろう	○整理・分析3		グループ ↓ 全体	国語「インタビューを…」 国語「係の活動について…」 道徳「SL公園で」 体育「多様な動きをつ…」
	○まとめ・表現3	公園管理課 千葉 YMCA	グループ	国語「気持ちをつたえ…」 図工「トントングミ打…」
	<ul style="list-style-type: none"> 実際に遊んでみるなどして、楽しくかつ安全にできるかを分析しながら改善する 			
	<ul style="list-style-type: none"> 市役所や YMCA の方に遊びなどのプレゼンや実演をし、常時の設置許可や遊びの評価をもらう 			
④みんなが来たくなるようなガイドブックを作ろう	○課題設定4		全体	
	○情報収集4	るるぶ or マップルの会社	全体 ↓ グループ	国語「くらしと絵文字」 国語「町の行事について…」
	○整理・分析4	るるぶ or マップルの会社	個人 or ペア ↓ 全体	道徳「それは、だれの…」
	○まとめ・表現4	るるぶ or マップルの会社 近隣の学校	全体	国語「いろいろな手紙…」 国語「ことわざ・慣用句」 国語「ローマ字」
	○単元のまとめ			

6 本時展開の小単元について

過程	主な学習活動（・）、評価のタイミング（☆） 主な過程の通過点（□）	時数	地域の材の活用（◆） ツール等の活用（◇）
課題設定	<p>○課題設定2</p> <p>☆どんな人がどのように利用し、遊具などはだれが管理しているかなど、次の課題や活動計画を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人気の公園や遊び、遊具は何だろう？ ・それぞれの公園が、どんな人がどのように利用されているのか、どのように管理されているか調べたいな。 </div>	①	
情報収集	<p>○情報収集2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用調査等のアンケートの項目を考え、用紙等を作成する <p>☆南小の児童の利用調査の集計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の幼・保の利用調査の集計 ・近隣住民の利用調査の集計 <p>☆公園管理課の方から管理の状況や方法、課題等を調査する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに答えてもらえてうれしいな。 ・たくさんの回答があるから、表や棒グラフにまとめていこう。 ・公園管理課の方が管理・点検などをしっかりと行ってくれるから安心・安全に楽しく遊べるんだな。 </div>	④	<ul style="list-style-type: none"> ◆近隣の保育園 ◆近隣住民 ◆公園管理課
整理・分析	<p>○整理・分析2</p> <p>☆それぞれの公園の利用状況を、表やグラフを用いながら整理する</p> <p>☆整理した表や棒グラフ、アンケートの回答からそれぞれの公園がどんな人にどのように利用されているか、私たちがすべきことやできることはないかを分析する 本時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集計結果から、〇〇なことがわかった。 ・高学年になると、あまり公園に行かない。公園での遊びの種類も少ないから、楽しくないのかな…。 ・小さい子は、遊具で遊ぶことが好き。壊れて遊べないと、とてもがっかりするだろうな…。 </div>	④	<p>◇表や棒グラフ</p> <p>◇V字チャート (板書のみ)</p>
まとめ・表現	<p>○まとめ・表現2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1サイクルで作成したそれぞれの公園の模造紙に、利用状況や管理について追記する <p>☆自分たちがすべきことやできることについてまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな年齢の人と楽しく公園で遊べるようにできなかな。 ・小さい子も安心・安全に楽しく遊べるように、私たちでも気を付けられることはないかな。 </div>	①	

7 本時案（2コマ分 前半部分の展開：2組、後半部分の展開：4組）

(1) 本時の目標

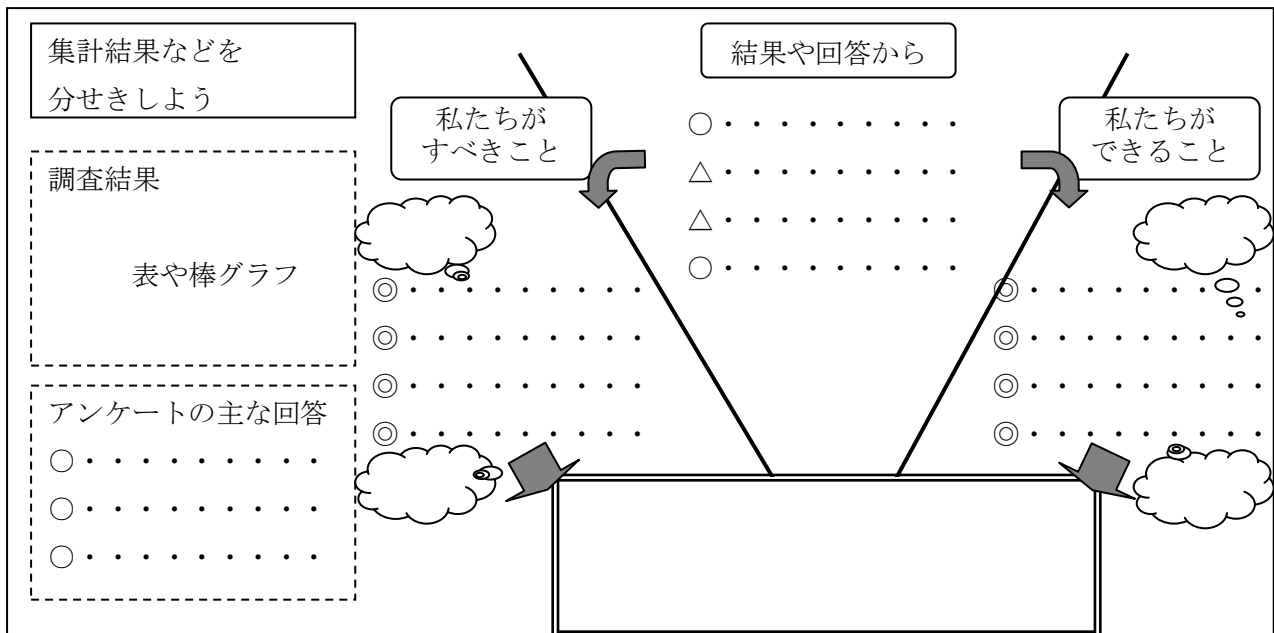
調査結果（表や棒グラフ）やアンケートの回答から、自分たちがすべきことやできることに分類しながら、利用者や公園に対してどうしていきたいかを考えている。 【思考・判断・表現】

(2) 展開

	学習活動と内容	指導と支援（○）、評価（☆）、評価方法（ ）
5分	1 公園利用等の集計結果やアンケートの回答を再度確認し、本時の活動の見通しをもつ。	○集計結果や回答をまとめたものを黒板に掲示したり、前時の振り返りの記述から本時の活動につながる内容を紹介したりして、児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
	集計結果などを分せきしよう	
15分	2 集計結果や回答から見てわかることを全体で確認する。	○Vチャートを意識しながら、黒板に短い言葉でまとめて記述する。 ○根拠となるデータに着目させたり、論点がずれないように修正したりする。
	<p><予想される・期待したい回答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて利用が減っているし、ほとんど遊びに行かない公園がある。 ・待ち合わせやみんなでゲームをするために公園に来ている人が多い。 ・公園では、遊具か鬼ごっこぐらいしか遊びが書かれていない。 ・保育園では、午前中に公園を利用して、遊具で遊ぶことが大好きみたい。 ・近隣の人は、大声で騒いだりルールを守らなかったりする人に迷惑している。 	
15分	3 公園マイスターを目指すべく、自分たちがすべきことやできることを個人で考える。 「すべきこと」…なにかしないとまずい …～した方がよいのではないか 「できること」…もっと～したい …～したら、よりよくなる	<p>主発問① 公園マイスターになるために、利用者や公園に対して、どうしていく？</p> <p>○いくつか児童の発言を拾い上げながら、「すべきこと」と「できること」の項目をV字チャートに示す。 ○机間指導を行い、キーワードとなるような言葉に赤線を引いたり、発表を促したりする。 ☆調査結果やアンケートの回答から、自分たちがすべきことやできることに分類しながら、利用者や公園に対してどうしていきたいかを考えている。 (ワークシート)</p>
	<p><予想される・期待する回答></p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ ① どんな人でも安心・安全に楽しめるように、ルールをしっかりと伝えるべき ② 掃除をしたり、花を植えたりして気持ちよく公園を使えるようにした方がよい ㊧ ㊦ みんなが楽しめる遊びを紹介して、もっとたくさんの人に来てもらいたい ㊧ ㊦ 新しい遊びをつくって、飽きてしまった人にもまた公園に来て遊んでもらいたい ㊧ ㊦ 「こんな公園で、こんなことができる」とみんなに教えたい 	

10分+	4 「すべきこと」「できること」を全体で共有し、今後の活動の指針となるようなものを整理する。	<p>○活動方針と理由が明確になるように、V字チャートの左右に意見をまとめながら、補助的な質問を適宜入れる。</p> <p>○机間指導でチェックした子を中心に、意見が出せていない児童を指名する。</p>
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">1コマ目と2コマ目の境界</div>	
7分	<p>5 「すべきこと」と「できること」を総括して今後取り組むことを個人で考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <予想される回答> ・いつ行っても、安心・安全に公園が利用できるように働きかける ・公園での遊びをもっと知って、たくさんの友達と遊びたい ・おゆみ野にある公園をみんなに知らせて、たくさんの人に来てもらいたい </p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 主発問② 全部のことはできないと思うよ。どれを中心に活動していったらよいか？ </div> <p>○みんなも満足できるような取組や働きかけになるように事前に指導する。また、「ダメなことをなくす」ような、マイナス部分を0にするような活動は好ましくないことも伝える。</p> <p>☆調査結果やアンケートの回答から、自分たちがすべきことやできることに分類しながら、利用者や公園に対してどうしていきたいかを考えている。 (ワークシート)</p>
20分	6 「すべきこと」と「できること」を全体で共有し、次の小単元の柱となるものを話し合う。	○キーワードを端的に板書しながら、話し合いが活発になるように積極的に介入し、意見や理由を吸い上げ、児童とまとめていく。
8分	7 振り返り	○「考えたこと」や「これから頑張りたいこと」を中心に、思いのたけを記述するように伝え、支援を要する児童を気かけながら、黙々と書くことができる環境を整える。

<板書計画>



<ワークシート>

おゆみ野 公園マイスター

3年 組 名前 ()

月 日 ()

ぼく・わたしがすべきこと	ぼく・わたしができること

↓ ↓